

## 群馬県女性薬剤師会会長就任のご挨拶

一般社団法人 群馬県女性薬剤師会 会長 田尻 洋子



このたび群馬県女性薬剤師会会長を務めるようご選任頂きました田尻洋子と申します。よろしくお願ひいたします。

まず、過去の資料により群馬県女性薬剤師会の歴史を簡単にご紹介したいと思います。

昭和23年、大正末期には前橋に3名だった女性薬剤師数も80名となりました。そこで県民の健康と公衆衛生に寄与すべく、女性薬剤師の研修と親睦の場として当会が結成され、同年10月29日に設立総会の運びとなりました。会の立ち上げ当初から、群馬県薬剤師会の先生方には大変お世話になったと伺っております。昭和29年には正式名称を「群馬県婦人薬剤師会」と定め、会則を改め、再出発致しました。

また昭和54年には「群馬県各種婦人団体連合会」（現・群馬県女性団体連絡協議会）に入会し、各種女性団体との交流も始まりました。毎年6月に行われている「男女共同参画フェスティバル」において、女性薬剤師会の活動を広く知っていただくための発表の場として参加しています。

現在、当会は「群馬県女性薬剤師会」と改称し、平成24年に群馬県薬剤師会部会から独立し、「日本女性薬剤師会」の群馬県支部として活動しています。活動は主に会員に対する研修会等の開催で、女性薬剤師の資質向上、社会的地位の確立とともに、女性薬剤師ならではの視点に基づき社会に貢献していくことを目指しております。かつては医薬分業も進んでいない状況であり、結婚、出産、育児により未就業薬剤師が多く、その把握とともに研修の場を提供するという当会の活動は、現在の女性薬剤師の活躍の土台を築く一助になったのではないかと考えております。

このような歴史のある会を引き継ぎ、次世代に引き渡すという重責には身の引き締まる思いです。力不足ではありますが、皆様のご協力のもと務めさせていただき所存でございます。どうぞご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、会報紙面を提供していただき、武智会長をはじめとして、会報編集委員会の先生方に感謝申し上げます。

「かかりつけ薬剤師」知っていますか？

患者さん自身で薬剤師決めることができ、原則いつでも

○いつも同じ薬剤師が対応するので、健康のこと、なんでも気軽に相談することができます。

お薬手帳

○今まで以上に飲み合わせのことや、お薬の飲み方、お薬を飲んだ後のフォローなどがしてもらえます。

○24時間、電話にて連絡をとることができます。

◆指名料として20円～100円程度の差額がかかります。  
◆指名できる薬剤師には条件があります。ご興味のある方には詳しく説明しますので、お気軽にご相談ください。

群馬県女性薬剤師会

男女共同参画フェスティバルで使用したポスター